

高村京子 議員が10月4日、9月県議会（9/26～10/17）一般質問に立ちました。質問と答弁の要旨を紹介します。



* 健康で文化的な最低限の生活保障について *

【高村】今夏は熱中症で緊急搬送が多発した猛暑。今年4月以降の生活保護世帯にもクーラー設置扶助が認められた。さらに全保護世帯に設置を認めることや、熱中症予防のための夏季加算新設などの対策を国に求めてほしい。

【健康福祉部長】生活必需品は保護費のやりくりで賄うことが基本。熱中症対策の特別な需要増加を考慮した保護費の要望は今後検討したい。

【高村】電気・ガス・水道などライフラインの停止は生命が危険にさらされる。

【公営企業管理者】県営水道では生活保護世帯やひとり親世帯の水道基本料金を半額に減免する制度を設けており、個々の状況に応じて柔軟に対応している。

【健康福祉部長】事業者との協定で、訪問先で異変を察知した時の通報が33件あった。

【高村】国の生活困窮者支援の引き下げについて知事の認識は。

【知事】生活保護基準見直しは、児童養育加算の延長や激変緩和措置等もあり、合理的なものとして認識している。しかし、試算では減額となる世帯の方が多く、実態・影響を把握し分析していきたい。

* 高い国民健康保険料の軽減化を求める *

【高村】国民健康保険の8割が低所得者層で支援が必要。滞納者に保険料納付を強要したり、差し押さえなどでさらに生活困窮者を追い込んでいないか危惧している。

【健康福祉部長】相談機会確保のため、滞納者に短期保険証を交付している。未交付が長引くのは望ましくなく、郵送や直接訪問で交付するよう周知している。

【高村】県独自の財源拠出や国に大幅な財源拠出を強く求め、負担を軽減すべきだ。

* 高校改革について *

【高村】上小地区の高校入試では毎年100人以上の不合格者が出ている。上小地区ではクラスは減らすべきではない。

【教育長】生徒個々が希望により志望校を決定しているため、一部高校に集中する。県全体で適正になるよう努める。

※このほか県営ワイン用ぶどう団地造成地で発生した水害の対策についても質問しました。

質問を終えて

県庁は、「確かな暮らしが営める美しい信州」と掲げています。さまざまな困窮する人にこそ、暮らしと健康を応援するあたたかい対応を求めています。